

宇都宮工場

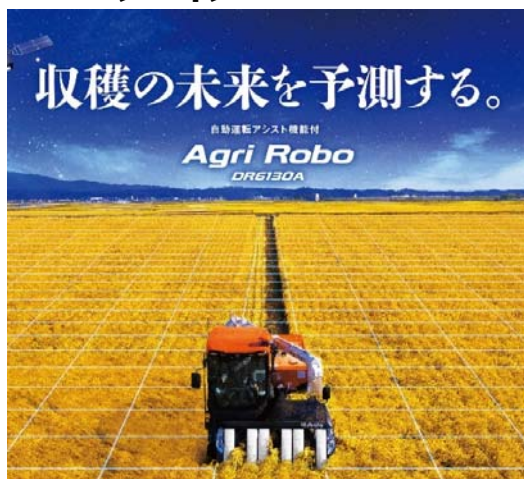
1. 事業概要

住所	〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地22-2
従業員数	423名 (2021年12月現在)
敷地面積	145,479m ² (建築面積77,197m ²)
操業	1969年5月
事業内容	当工場は、当社で国内唯一のコンバイン・乗用田植機という作業機の製造をしている工場です。これら製品は季節性を特徴としており、工場ではお客様が必要なときに、必要なものを必要なだけ出荷できるモノづくり、すなわち年間を通じ量変動をさせる生産体制をとっております。 また海外に関しては、中国・タイ製造拠点のマザー工場であり、アジアを中心にグローバルな事業展開をする上で、核となる工場となっております。 作業機以外に歩行型トラクタ、業務用加湿空気清浄機(ピュアウォッシャー)の生産も行っています。2022年より北米・欧州向けの小型トラクタの生産を開始しました。



主要製品

・コンバイン



・田植機



・北米・欧州向け 小型トラクタ・乗用芝刈機



・歩行型トラクタ



・業務用加湿空気清浄機



宇都宮工場

2.環境方針

ISO環境方針

理 念

私たちは「地球規模で持続的な発展が可能な社会」「企業と市民が相互信頼のもとに共生する社会」の実現をめざし、地球環境の保全に配慮した企業活動を行います。

方 針

宇都宮工場は、農業機械及び周辺機器の製造とサービスにおけるあらゆるプロセスにおいて環境マネジメントシステムを確立・維持することにより、地球環境の保全に配慮した企業活動を実施いたします。

具体的推進案

1. 原材料の購入から使用、廃棄、回収と生産及びサービスの各段階において汚染の予防に努めます。また、生産方法の改善、使用原材料の見直し等、長期的で幅広い観点からの施策を実施し、環境負荷の継続的改善に努めます。
2. 国、地方自治体等の環境関連法・条例規制の遵守は勿論のこと、同意したその他の要求事項についても自主管理基準を設定し、維持することに努めます。
3. 環境負荷を低減するために、技術的、経済的に可能な範囲で達成すべき目標を定め、確実に実施するための環境マネジメントプログラムを明確にします。また、その実施状況を定期的に確認し、見直しを行うように努めます。
4. 環境管理活動の重要性を全従業員（従業員、協力会社社員、派遣社員、請負者含む）に徹底し、環境保全に対する意識の向上に努めます。
5. 地域での環境保全活動への参画、支援に積極的に取り組み、地域との共生に努めます。
6. この環境方針は、社会への責任を示すために、一般の人が求めに応じて入手可能なものとしします。

2021年 1月1日
株式会社クボタ宇都宮工場
工場長 小西 芳典

ISO認証取得状況

ISO14001認証を2000年12月に取得しました。そして2017年12月に2015年度版への更新を完了しました。6カ月ごとの外部サーベイランスと年2回の内部監査を実施して、環境マネジメントシステムの適切性を評価しています。内部監査員は監査員教育を受けたメンバーで構成し、相互監査を通じて環境保全のレベルアップに取り組んでいます。

2000年12月 ISO14001認証取得
2005年 6月 2004年度版移行審査受審
2006年12月 第2回更新審査終了
2009年12月 第3回更新審査終了
2012年12月 第4回更新審査終了
2015年 9月 第5回更新審査終了
2017年12月 2015年度版へ移行
2018年12月 第6回更新審査終了
2021年12月 第7回更新審査終了

宇都宮工場

3.サイトデータ(2021年1月～12月の実績)

INPUT

※製品に充てんした燃料も集計対象に加えています。

エネルギー使用量	原油換算 KL	2,605
水使用量	万m ³	7.7

OUTPUT

エネルギー起源CO ₂ 排出量	t-CO ₂	4,949
----------------------------	-------------------	-------

排出ガス	主要ばい煙発生施設		ボイラー		
	項目	単位	規制内容	規制値	測定値
SO _x	—		硫黄分ゼロの都市ガス使用		
NO _x	ppm		濃度規制	150	22
ばいじん	g/m ³ N		濃度規制	0.1	0.001

排水量	合計量	万m ³	19.6
汚濁負荷量	COD	kg/年	—
	窒素	kg/年	—
	りん	kg/年	—

排水	放流先	項目	単位	末端排水口	
				規制値	測定値
公共用水域		pH	最小値, 最大値	—	—
		BOD	mg/ℓ	—	—
		COD	mg/ℓ	—	—
		窒素	mg/ℓ	—	—
		りん	mg/ℓ	—	—
		六価クロム	mg/ℓ	—	—
		鉛	mg/ℓ	—	—
		COD総量規制値	kg/日	—	—
		窒素総量規制値	kg/日	—	—
		りん総量規制値	kg/日	—	—
下水道		pH	最小値, 最大値	5.8～8.6	6.9, 7.8
		BOD	mg/ℓ	25	6.2
		COD	mg/ℓ	—	—
		SS	mg/ℓ	—	—

廃棄物排出量	t	346
再資源化率	%	99.8

VOC排出量	t	21
--------	---	----

PRTR法対象物質集計結果

単位: kg/年

政令 No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	場外移動	下水道
53	エチルベンゼン	3,999	0.0	0.0	0.0	2,740	0.0
80	キシレン	8,841	0.0	0.0	0.0	6,058	0.0
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	5,096	0.0	0.0	0.0	3,492	0.0
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	1,308	0.0	0.0	0.0	896	0.0
300	トルエン	235	0.0	0.0	0.0	161	0.0
302	ナフタレン	1,278	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※ 拠点ごとの年間取扱量が1t(特定第1種は0.5t)以上の物質について集計

宇都宮工場

4.環境トピックス

『コストを切り口にした全員参加の3Q活動』

環境コスト削減をテーマにQCサークル毎にアイデアを提案、活動をおこなっています



担当者会議での発表の様子

削減コスト	テーマ
¥224	廃プラスチックの排出量削減
¥30,352	不使用時の設備、電気機器消費電力の削減
¥122,400	ネジロック使い残しゼロ
¥1,140	5分停止時、設備、AGVの電機OFFの徹底・資源ごみ分別の徹底
¥38,250	環境負荷低減によるコスト削減
¥422,388	溶接設備の待機電力省エネ活動
—	溶接チップ管理の見直しによるコスト削減活動
¥4,935	ペットボトル排出量削減/エアージェット削減
¥211,993	蛍光灯、扇風機、ストーブの省エネ化
¥151,200	職場内のエアージェット対策
¥52,385	工場環境コストの項目別削減活動
¥153,145	焼却ビニール削減
¥5,500	こまめな消灯による環境負荷低減・P.Cモニター消費電力削減
—	黒スプレー缶キャップのラベル剥がしてコストダウン
¥315	塗装用スプレー缶キャップの売却によるコスト削減
—	ライン内エアージェット0件
¥10,845	P.Cモニター電力量の削減（モニタ電源OFF活動の推進）
—	エアージェット削減
¥3,055	こまめな消灯による環境負荷低減
¥1,800	生活ゴミ混入率時減
¥5,326	モニター消し忘れ及び、エアージェット0件
¥25,680	エアージェット削減
¥400	作業台照明消灯による消費電力削減

『エアリークビューアの導入』

エア漏れを音の検出だけでなく、色付け表示による視覚で確認ができるようになりました。各職場に貸し出し、活用しています。エア漏れを改善することでエネルギーの無駄を省きます。



5.環境コミュニケーション

当社の企業活動は顧客および地域住民の協力なくして成り立たないと認識し、下記活動などを通じて地域との融和に努めています。



回収したごみは分別・分析し工場内に結果を配信

工場外周クリーンアップ活動

QCサークル環境担当者が隔月で工場外周の美化活動を行っています。